



Japan Society of Internship
and Work Integrated Learning

日本インターンシップ学会 NEWS LETTER

2019年度 NO.1

■目次

- ・第20回大会を終えて
- ・第21回大会開催に向けて
- ・理事会報告
- ・2019年度総会報告
- ・2018年度事業報告及び決算報告
- ・2019年度事業計画及び予算
- ・年報編集委員会報告
- ・広報委員会報告
- ・高良記念研究助成報告
- ・槇本記念賞WG報告
- ・支部活動報告
(北海道支部、東日本支部、関西支部、九州支部)
- ・事務局からのお知らせ

第20回大会（於：近畿大学）を終えて

2019年8月31日（土）・9月1日（日）に、近畿大学・東大阪キャンパスにて第20回大会を開催しました。全国からご出席いただいた106名（除く学生アルバイト18名）の皆様には厚く御礼申し上げます。

当初は大会実行委員長の廣瀬 幸弘会員（当時の関西支部長）のもと、立命館大学大阪いばらきキャンパスで開催する予定で、関西支部運営委員有志が事前準備を着々と進めておりました。しかしながら、2019年3月後半頃から廣瀬会員が体調不良に襲われ、その後も一時入院されるなど大会実行委員長としての任務継続が困難な事態となりました。そこで、4月下旬の準備委員会で急遽私が大会実行委員長代行に就任し、会場を近畿大学に変更することとしました（廣瀬会員は大会実行委員長の肩書のまま）。混乱を招かないように、すでに決まっていた日程やテーマ「グローバルな産学連携」、ゲストについては当初予定どおりとしました。なお、4年前の第15回大会を同じ近畿大学で開催しましたので、会場（4年前は経済学部内で開催）については、当時はなかったアカデミックシアター（2年前に完成）や懇親会場 THE LOUNGE（同：近大マグロを食べられるレストラン）などを使いました。

大会4か月前の急な会場変更でしたが、本部の理事会・広報委員会や大会参加者の皆様のご理解ご協力を賜り、さらには関西支部運営委員有志の多大なるご助力を得て、なんとか大会開催に漕ぎつけることができました。ご支援いただきましたすべての関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

大会初日の基調講演「企業理念の実践を加速する人材戦略／人財アトラクション（オムロンのケース）」は、日戸 興史氏（オムロン株式会社 取締役 執行役員専務 CFO 兼グローバル戦略本部長）にお願いしました。廣瀬会員が立命館大学でインド工科大学ハイデラバード校と組んで手掛けられた「大学の世界展開力強化事業 産学国際協働PBL」において、大変お世話になった方です。

続いて、シンポジウム「グローバル社会におけるインターンシップのあり方」を開催しました。シンポジストとし

て、村田 弘司氏（株式会社日吉 代表取締役社長：廣瀬会員が上記のプロジェクトでお世話になった方）、田中 穂徳氏（近畿大学キャリアセンター次長：2006年から海外インターンシップを継続中）、廣瀬会員（前・立命館大学：大会当日には体調を回復されてご出席）、田中 寧会員（京都産業大学：京都産業大学のむすびわざコーププログラムの紹介と WACE < World Association of Cooperative Education >の取り組みを解説）にご登壇いただき、私がファシリテーターを務めました。

さらに、2019年1月に97歳で逝去された高良和武先生（日本インターンシップ学会初代会長）の追悼講演「高良和武先生の思い出」を田中 宣秀会員にお願いしました。黙祷から始まり、ご業績からお人柄までを網羅した講演でした。

続いて、高良記念研究助成報告（王 佳会員）や、第3回槇本記念賞の表彰式（2年に1度の催し）が行われました。

2日目の自由研究発表では、4会場で18件の意欲的な発表がありました。日程優先のため、初日と同じ建物を使うことはできず、近くの国際学部の建物（3年前に完成）を使ったのですが、出席者の皆様のご協力を得て、大きな混乱なく終了することができました。

2日間の大会を通じて、海外インターンシップなど、産学連携のグローバルな取り組みについて紹介できました。皆様のインターンシップ研究のうえで、お役に立てれば幸いです。

最後に、次回、東日本支部が担当されます第21回大会（桜美林大学）の益々のご盛会を心より祈念いたしております。

（第20回大会実行委員長代行 安孫子 勇一・近畿大学）



第 21 回大会（於：桜美林大学）開催に向けて

2020 年は、東京オリンピック開催という大きな国家的イベントを迎える節目の年、こうした重要な年に、伝統ある日本インターンシップ学会の全国大会第 21 回大会を桜美林大学新宿キャンパスで開催できることは、桜美林大学関係者として大きな喜びであります。開催日は 2020 年 8 月 29 日（土）～30 日（日）です。

桜美林大学新宿キャンパスは 2019 年 4 月にオープンした新しいキャンパスです。大学の本体はまだ町田市に残っておりますが、ビジネスマネジメント学類だけがこの新しいキャンパスに移転してまいりました。

このキャンパスへは、JR 新大久保駅、もしくは中央本線大久保駅が最寄り駅です。これらの駅の周辺は、韓国をはじめとしてネパール、モンゴルなど、アジア諸国の方々の生活拠点ともなっており、その文化の多様性を楽しむことができます。その一方、都心にありながら、キャンパス周辺は閑静な場所にあり、学習環境としては極めて恵まれた立地にあります。このように、東京都心の至便な位置にあり、かつ綺麗な校舎ですので、できるだけ多くの会員の皆様にお越しいただくことを切に願っております。

本キャンパスは情報技術を様々な形で取り入れ、完全に電子化した図書館など、これまでの大学のキャンパスにはないような取り組みを行っております。その詳細については、大会参加のためにお越しいただいた際、詳細にご説明させていただきたいと存じます。

また、ビジネスマネジメント学群として、学生が実際にビジネスをプランし、実行するという取り組みもキャンパス内で行っています。学生自身が企画・運営するカフェや、旅行会社の指導のもとに取り組む旅行業務などの状況も、是非ご覧いただきたいと思っています。

このように、会員の皆様にきつとご満足いただけるよう、本学として努力してまいります。第 21 回大会が大いに意義あるものとして成果を残せるよう、皆様にも是非ご協力いただきますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

（第 21 回大会実行委員長・戸崎 肇・桜美林大学）

理事会報告

2018 年度第 5 回理事会（2019 年 6 月 16 日 於：札幌国際大学）

(1)入退会申請について

入会申請は全 5 件（個人 5 名）ありすべて承認、また退会申請も全 9 件（個人 8 名、団体 1 件）すべて承認された。

(2)年報編集委員会

事務局長より資料に基づき第 21 号および 22 号の進捗状況の報告がなされた。

(3)楨本記念賞 WG

古閑副会長より資料に基づき各支部からの推薦状況（計 10 件）および今後のスケジュールに関する報告がなされた。

(4)企画研究 WG

江藤理事より資料に基づき 2018 年 11 月に実施した「研究スタートアップセミナー」に関する報告がなされた。

(5)大会での発表資格について

事務局長より資料に基づき会費未納者の全国大会での発表申込が数名いるとの報告があった。該当会員については、過去の未納分の振り込みが確認できた時点で発表資格を与えることとなった。

(6)20 周年記念事業特別委員会

太田委員長より資料に基づき 20 周年記念誌および記念フォーラムに関する計画の報告がなされた。

2019 年度第 1 回理事会（2019 年 8 月 10 日 於：近畿大学）

(1)入退会申請者について

入退会申請は全 4 件（個人 4 名）ありすべて承認、また退会申請も全 1 件（個人 1 名）すべて承認された。

(2)全国大会について

安孫子会員（大会実行委員長代行）より資料に基づいて、全国大会のスケジュールおよび概要に関する報告がなされた。

(3)年報編集委員会

薬師丸理事より資料に基づき年報 22 号の制作進捗状況および年報 21 号の発刊遅延の経緯について報告がなされた。

(4)選挙管理委員会

森谷選挙管理委員長から、資料に基づき理事選および会長選の結果が報告された。

(5)2018 年度 JSI 決算および 2019 年度予算概要報告

事務局長より、資料に基づき 2018 年度 JSI 決算概要案の報告がなされた。

(6)会則改訂について

折戸会長より新たな委員会組織である学会表彰委員会について資料に基づき提案がなされ、隔年で定期的実施されている楨本記念研究助成のワーキンググループを委員会とし、また高良記念と楨本記念を併せて学会表彰委員会とすることに関して承認が得られた。

2019 年度第 2 回理事会（2019 年 8 月 31 日 於：近畿大学）

(1)入退会申請について

入会申請は全 1 件（団体 1 件）あり、承認された。なお、退会申請は 0 件であった。

(2)第 20 回大会について

安孫子大会実行委員長代行より資料に基づき第 20 回大会開催事前報告がなされた。

(3)2018 年度 JSI 決算および 2019 年度予算案について

事務局長より資料に基づき 2018 年度 JSI 決算および

2019年度予算案についての説明がなされた。協議の上、2019年度予算の年報制作費と通信費を微調整した上で審議の上、決算予算共に承認された。

(4)理事会運営について

折戸会長より資料に基づき慣例的に年間5回開催している理事会を3回に削減し、緊急案件が出た場合は常任理事会を開催するという提案がなされ、審議の上承認された。

なお、各理事会で行われた委員会・ワーキンググループ・各支部の詳細な報告につきましては、本News Letterの報告記事をご覧ください。

(事務局)

2019年度総会報告

総会が、2019年8月31日(土)近畿大学において開催され、以下の報告・審議が行われました。

(1)2018年度 事業報告

事務局長より資料に基づき説明があり、審議の上承認された。

(2)2018年度 決算報告および2018年度 監査報告

事務局長より資料を基に2018年度の決算報告がなされ、審議の上承認された。併せて森谷監事より監査報告がなされた。監査報告については、業務監査のみ後日改めて審議することとなった。

(3)2019年度 事業計画

事務局長より資料に基づき事業の概要について説明があり承認された。

(4)2019年度予算について

事務局長より資料に基づき一般会計予算案および特別会計予算案について説明がなされた。一般会計については名簿作成費を計上すべきという指摘があり、当該項目を追加計上することを前提に、審議の上両予算共に承認された。

(5)高良記念研究助成について

牛山委員長より本年度は1名の研究が採択されたことが報告され、総会にて授与式が行われた。

(6)学会会則改訂について

事務局長より資料に基づき学会会則改訂の説明がなされた。審議の結果、一部事項に対して異論が出、否決となった。

(7)第21回大会について

折戸会長より来年度開催の第21回大会会場校について、諸事情により開催校の名前が出せないため、決定次第学会ホームページを通して公表する旨の説明がなされた。

(8)2019・2020年度 役員選出について

森谷選挙管理委員長より、資料をもとに2019・2020年度新理事・新会長候補選出のための選挙が実施され、新

理事候補として15名を、新会長候補として折戸晴雄会員を選出したことが報告された。それを受けて総会では、15名の新理事および折戸会長、根木事務局長の選出を承認した。副会長、常任理事については、次回理事会にて検討することが報告された。

(事務局)

2018年度事業報告及び決算報告

「総会報告」とおおり、2018年度事業報告及び決算報告について、総会にて下記のとおり承認された。

2018年度事業報告

1. 2018年度事業期間

・2018年7月1日～2019年6月30日

2. 事業の概要

・2018年9月3日・4日 第19回大会開催(会場:香蘭女子短期大学)

・2018年9月3日 総会(香蘭女子短期大学)

3. 理事会

・第1回理事会 2018年8月14日(香蘭女子短期大学)

・第2回理事会 2018年9月2日(香蘭女子短期大学)

・第3回理事会 2018年12月8日(文化学園大学)

・第4回理事会 2019年3月13日(久留米大学サテライトキャンパス)

・第5回理事会 2019年6月16日(札幌国際大学)

4. 各種委員会およびWG

(1)年報編集委員会

・2019年9月「インターンシップ研究年報」21号発行

(2)広報委員会

・2018年11月 NEWS LETTER2018 No.1 発行

・2019年5月 NEWS LETTER2018 No.2 発行

・学会ウェブサイトによる情報発信

・メルマガによる情報配信

(3)高良記念研究助成審査委員会「2018年度高良記念研究助成」実施

2018年度は2件応募があり、審査委員会において厳正に審査を行い1名の会員が助成対象となった。

(4)槇本記念賞 WG

2017、2018度の2年間に大会や各支部で報告されたインターンシップの秀逸な事例を収集し、2019年度大会にて表彰を行うべく、選考を行った。各支部から合計10例の「秀逸な」インターンシップ事例が推薦され、ワーキンググループメンバーでの選考を実施、1件の「最も秀逸な事例」と4件の「秀逸な事例」を選定し、受賞者は2019年8月31日に実施される第20回大会にて表彰される。

5. 各支部活動

(1)北海道支部

2019年3月11日 2018年度総会・第1回研究会(札幌)

国際大学経済センターキャンパス)
 2019年6月16日 2018年度第2回研究会(札幌国際大学)
 (2)東日本支部
 2018年7月3日 2018年度支部役員会・総会・第1回支部研究会(筑波学院大学)
 2018年12月1日 2018年度第2回研究会(青森中央短期大学)
 2019年5月18日 2018年度支部役員会・第3回研究会(立教大学)
 (3)関西支部

2018年8月10日 2018年度支部研究会(キャンパスプラザ京都)
 (4)九州支部
 2018年7月21日 2018年度総会(香蘭女子短期大学)
 2018年11月23日 第22回支部研究会 企画研究WG/高良記念研究助成委員会共催(久留米大学サテライトキャンパス)
 2019年3月9日 第23回研究会(リファレンスはかた近大ビル貸会議室)
 (事務局)

2018年度 日本インターンシップ学会 収支計算書
 (2018年7月1日～2019年6月30日)

| 【一般会計】 | | | | (単位:円) | | | |
|--------------|------------------|------------------|-----------------|--------------|------------------|------------------|-----------------|
| 支出の部 | 2018年度予算(a) | 2018年度決算(b) | 予実差異(b-a) | 収入の部 | 2018年度予算(a) | 2018年度決算(b) | 予実差異(b-a) |
| 事業費 | 1,878,000 | 1,120,370 | -757,630 | 会費収入 | 2,880,000 | 2,732,000 | -148,000 |
| (北海道支部活動費) | 150,000 | 150,000 | 0 | (個人会員) | 1,850,000 | 1,797,000 | -53,000 |
| (東日本支部活動費) | 150,000 | 150,000 | 0 | (学生会員) | 70,000 | 75,000 | 5,000 |
| (関西支部活動費) | 150,000 | 0 | -150,000 | (法人・団体会員) | 960,000 | 860,000 | -100,000 |
| (九州支部活動費) | 150,000 | 150,000 | 0 | 事業収入 | 0 | 0 | 0 |
| (大会開催費) | 300,000 | 300,000 | 0 | (研究会収入) | 0 | 0 | 0 |
| (年報作成費) | 400,000 | 264,714 | -135,286 | (書籍・年報等販売収入) | 0 | 0 | 0 |
| (J-stage移行費) | 228,000 | 0 | -228,000 | 雑収入 | 100 | 506,071 | 505,971 |
| (記念事業費) | 300,000 | 50,850 | -249,150 | (受取利息) | 100 | 0 | -100 |
| (役員選挙費) | 50,000 | 54,806 | 4,806 | (その他の収入) | 0 | 50 | 50 |
| (名簿作成費) | 0 | 0 | 0 | (大会開催費余剰金) | 0 | 300,000 | 300,000 |
| 事務管理費 | 2,038,880 | 1,802,578 | -236,302 | (北海道支部余剰金) | 0 | 69,932 | 69,932 |
| (通信費) | 200,000 | 68,656 | -131,344 | (東日本支部余剰金) | 0 | 0 | 0 |
| (HP管理費) | 38,880 | 38,880 | 0 | (関西支部余剰金) | 0 | 54,695 | 54,695 |
| (役員・委員等旅費補助) | 700,000 | 715,000 | 15,000 | (九州支部余剰金) | 0 | 81,394 | 81,394 |
| (業務外部委託費) | 1,000,000 | 975,216 | -24,784 | | | | |
| (その他運営費) | 100,000 | 4,826 | -95,174 | | | | |
| 積立金(特別会計へ) | 200,000 | 0 | -200,000 | | | | |
| 寄付金(特別会計へ) | 100,000 | 0 | -100,000 | | | | |
| 予備費 | 5,395,114 | 0 | -5,395,114 | | | | |
| 次年度繰越金 | 0 | 7,047,017 | 7,047,017 | 前年度繰越金 | 6,731,894 | 6,731,894 | 0 |
| 合計 | 9,611,994 | 9,969,965 | 357,971 | 合計 | 9,611,994 | 9,969,965 | 357,971 |

| | | | | | | | |
|------------|-----------|-----------|----------|------------|-----------|-----------|---------|
| (当該年度事業のみ) | 4,216,880 | 2,922,948 | -993,932 | (当該年度事業のみ) | 2,880,100 | 3,238,071 | 357,971 |
|------------|-----------|-----------|----------|------------|-----------|-----------|---------|

| 【特別会計(高良記念研究助成、榎本記念賞事業)】 | | | | (単位:円) | | | |
|--------------------------|----------------|----------------|-----------------|-------------|----------------|----------------|-----------------|
| 支出の部 | 2018年度予算(a) | 2018年度決算(b) | 予実差異(b-a) | 収入の部 | 2018年度予算(a) | 2018年度決算(b) | 予実差異(b-a) |
| 2018年度研究助成金 | 200,000 | 100,000 | -100,000 | 受取利息 | 50 | 0 | -50 |
| 榎本記念賞事業費 | 100,000 | 0 | -100,000 | 余剰金 | 0 | 0 | 0 |
| 振込手数料 | 1,000 | 0 | -1,000 | その他 | 0 | 0 | 0 |
| 予備費 | 186,546 | 0 | -186,546 | 積立金(一般会計より) | 200,000 | 0 | -200,000 |
| 次年度繰越金 | | 87,496 | 87,496 | 寄付金(一般会計より) | 100,000 | 0 | -100,000 |
| 合計 | 487,546 | 187,496 | -300,050 | 前年度繰越金 | 187,496 | 187,496 | 0 |
| | | | | 合計 | 487,546 | 187,496 | -300,050 |

貸借対照表兼財産目録(2019.6.30現在)

| 資産の部 | | 負債・純資産の部 | |
|--------------|------------------|-------------|------------------|
| 流動資産 | 9,677,075 | (負債の部) | |
| 手持現金(鳥取大) | 0 | 流動負債 | 2,542,562 |
| 手持現金(九州大) | 0 | 特)未払金 | 0 |
| 預金 | 9,492,222 | 未払費用 | 1,232,562 |
| 山陰合同銀行(一般会計) | 0 | 特)未払費用 | 0 |
| 郵便振替口座 | 9,472,222 | 前受金 | 1,310,000 |
| 郵便振替口座(玉川) | 20,000 | 仮受金 | 0 |
| 未収入金 | 184,853 | 固定負債 | 0 |
| 一)未収入金 | 0 | | |
| 立替金 | 0 | (純資産の部) | |
| 仮払金 | 0 | 剰余金 | 7,134,513 |
| | | (一般会計繰越金) | 7,047,017 |
| | | (特別会計繰越金) | 87,496 |
| 固定資産 | 0 | | |
| 資産合計 | 9,677,075 | 負債・純資産合計 | 9,677,075 |

(注)本来は貸借対照表と財産目録を個別作成する必要があるが、財産が僅少のため当面本表にて対応することとする。

2019 年度事業計画及び予算

「総会報告」の通り、2019 年度事業計画及び予算について、総会にて下記の通り承認されました。

- (2) 支部研究会の開催（各支部年 2～3 回程度）
- (3) インターンシップ研究年報 22 号の刊行
- (4) News Letter の発行（年 2 回）及びその他広報活動の充実
- (5) 「2019 年度 高良記念研究助成」実施
- (6) 20 周年記念事業の実施

(事務局)

2019 年度事業計画

1. 2019 年度事業期間

2019 年 7 月 1 日～2020 年 6 月 30 日

2. 事業の概要

(1) 第 20 回大会の開催（2019 年 8 月 31 日（土）～9 月 1 日（日）、近畿大学

2019 年度 日本インターンシップ学会 一般会計 予算

一般会計【収入の部】

(単位:円)

| 大科目 | 中科目 | 2019年度予算額 | 前年度予算額 | 2018年度実績 | 2017年度実績 | 2016年度実績 | 予算増減 |
|-----------|------------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|----------|
| 会費収入 | 小計 | 2,642,000 | 2,880,000 | 2,732,000 | 2,880,000 | 3,125,000 | -238,000 |
| | 個人会員(10,000円) | 1,782,000 | 1,850,000 | 1,797,000 | 1,845,000 | 2,080,000 | -68,000 |
| | 学生会員(5,000円) | 60,000 | 70,000 | 75,000 | 75,000 | 65,000 | -10,000 |
| | 法人・団体会員(20,000円) | 800,000 | 960,000 | 860,000 | 960,000 | 980,000 | -160,000 |
| 事業収入 | 小計 | 0 | 0 | 0 | 10,500 | 28,000 | 0 |
| | 研究会収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 書籍・年報等販売収入 | 0 | 0 | 0 | 10,500 | 28,000 | 0 |
| 雑収入 | 小計 | 100 | 100 | 506,071 | 369,763 | 660,981 | 0 |
| | 受取利息 | 100 | 100 | 0 | 7 | 23 | 0 |
| | その他の収入 | 0 | 0 | 50 | 140,000 | 104,030 | 0 |
| | 大会開催費余剰金 | 0 | 0 | 300,000 | 0 | 0 | 0 |
| | 北海道支部余剰金 | 0 | 0 | 69,932 | 0 | 169,708 | 0 |
| | 東日本支部余剰金 | 0 | 0 | 0 | 64,653 | 14,844 | 0 |
| | 関西支部余剰金 | 0 | 0 | 54,695 | 0 | 127,753 | 0 |
| | 九州支部余剰金 | 0 | 0 | 81,394 | 165,103 | 244,623 | 0 |
| 当期収入合計(A) | | 2,642,100 | 2,880,100 | 3,238,071 | 3,260,263 | 3,813,981 | -238,000 |
| 前期繰越収支差額 | | 6,731,894 | 6,731,894 | 6,731,894 | 6,915,876 | 6,549,998 | 0 |
| 収入合計(B) | | 9,373,994 | 9,611,994 | 9,969,965 | 10,176,139 | 10,363,979 | -238,000 |

一般会計【支出の部】

| 大科目 | 中科目 | 2019年度予算額 | 前年度予算額 | 2018年度実績 | 2017年度実績 | 2016年度実績 | 予算増減 |
|-----------------|----------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 事業費 | 小計 | 2,130,000 | 1,878,000 | 1,120,370 | 1,494,000 | 1,556,732 | 252,000 |
| | 北海道支部活動費 | 150,000 | 150,000 | 150,000 | 150,000 | 150,000 | 0 |
| | 東日本支部活動費 | 150,000 | 150,000 | 150,000 | 150,000 | 150,000 | 0 |
| | 関西支部活動費 | 150,000 | 150,000 | 0 | 150,000 | 150,000 | 0 |
| | 九州支部活動費 | 150,000 | 150,000 | 150,000 | 150,000 | 150,000 | 0 |
| | 大会開催費(大会開催準備費) | 300,000 | 300,000 | 300,000 | 300,000 | 300,000 | 0 |
| | 年報作成費 | 600,000 | 400,000 | 264,714 | 594,000 | 363,205 | 200,000 |
| | J-stage移行費 | 0 | 228,000 | 0 | 0 | 0 | -228,000 |
| | 記念事業費 | 600,000 | 300,000 | 50,850 | 0 | 0 | 300,000 |
| | 役員選挙費 | 0 | 50,000 | 54,806 | 0 | 118,811 | -50,000 |
| | 名簿作成費 | 30,000 | 0 | 0 | 0 | 174,716 | 30,000 |
| 事務管理費 | 小計 | 2,088,880 | 2,038,880 | 1,802,578 | 1,950,245 | 1,691,371 | 50,000 |
| | 通信費(郵送料等) | 200,000 | 200,000 | 68,656 | 110,102 | 107,575 | 0 |
| | HIP管理費 | 38,880 | 38,880 | 38,880 | 38,880 | 38,880 | 0 |
| | 役員・委員等旅費補助 | 750,000 | 700,000 | 715,000 | 740,000 | 520,000 | 50,000 |
| | 業務外部委託費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 975,216 | 1,020,283 | 938,496 | 0 |
| その他運営費 | 100,000 | 100,000 | 4,826 | 40,980 | 86,420 | 0 | |
| 当期支出小計 | | 4,218,880 | 3,916,880 | 2,922,948 | 3,444,245 | 3,248,103 | 302,000 |
| 特別会計へ | 積立金 | 200,000 | 200,000 | 0 | 0 | 200,000 | 0 |
| | 寄付金 | 100,000 | 100,000 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 予備費 | 予備費 | 4,855,114 | 5,395,114 | 0 | 0 | 0 | -540,000 |
| 当期支出合計(C) | | 9,373,994 | 9,611,994 | 2,922,948 | 3,444,245 | 3,448,103 | -238,000 |
| 当期収支差額(A)-(C) | | -6,731,894 | -6,731,894 | 315,123 | -183,982 | 365,878 | 0 |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | | 0 | 0 | 7,047,017 | 6,731,894 | 6,915,876 | 0 |

2018(平成30)年度 日本インターンシップ学会 特別会計 予算(案)

特別会計【収入の部】

(単位:円)

| 大科目 | 中科目 | 2019年度予算額 | 前年度予算額 | 2018年度実績 | 2017年度実績 | 予算増減 |
|-----------|--------|-----------|---------|----------|----------|----------|
| 寄付金 | | 100,000 | 100,000 | 0 | 0 | 0 |
| 積立金 | 小計 | 200,000 | 200,000 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般会計より | 200,000 | 200,000 | 0 | 0 | 0 |
| 雑収入 | 小計 | 50 | 50 | 0 | 6 | 0 |
| | 受取利息 | 50 | 50 | 0 | 6 | 0 |
| | その他の収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期収入合計(A) | | 300,050 | 300,050 | 0 | 6 | 0 |
| 前期繰越収支差額 | | 0 | 187,496 | 187,496 | 495,149 | -187,496 |
| 収入合計(B) | | 300,050 | 487,546 | 187,496 | 495,155 | -187,496 |

特別会計【支出の部】

| 大科目 | 中科目 | 2019年度予算額 | 前年度予算額 | 2018年度実績 | 2017年度実績 | 予算増減 |
|-----------------|------------|-----------|----------|----------|----------|----------|
| 特別事業費 | 小計 | 300,000 | 300,000 | 100,000 | 305,650 | 0 |
| | 高良記念研究助成事業 | 200,000 | 200,000 | 100,000 | 200,000 | 0 |
| | 榎本記念賞事業費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 105,650 | 0 |
| 事務管理費 | 小計 | 1,000 | 1,000 | 0 | 1,512 | 0 |
| | 振込手数料 | 1,000 | 1,000 | 0 | 1,512 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 予備費 | 予備費 | -950 | 186,546 | 87,496 | 497 | -187,496 |
| 当期支出合計(C) | | 300,050 | 487,546 | 187,496 | 307,659 | -187,496 |
| 当期収支差額(A)-(C) | | 0 | -187,496 | -187,496 | -307,653 | 187,496 |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | | 0 | 0 | 0 | 187,496 | 0 |

年報編集委員会報告

『インターンシップ研究年報』第22号について

現在、『インターンシップ研究年報』第22号の発行への最終的な調整等をおこなっています。第22号には「論文」5件、「研究ノート」1件の投稿がありました。査読結果を踏まえた修正投稿の辞退等もあり、結果的には、「資料」1件の掲載を決定しております。会員の皆さまのお手元に届くまで、どうぞ、いましばらくお待ちください。

『インターンシップ研究年報』第23号への投稿のお願い

『インターンシップ研究年報』第23号への投稿を募集します。多くの会員の皆さまからの投稿をお待ちしています。

○締め切り：2020年1月20日(月)

○提出先：E-mail: jsi-bec@js-internship.jp

(日本インターンシップ学会年報編集委員会)

○提出方法：電子メールにファイルを添付し、提出先に送信

なお、提出にあたっては、以下より、希望する区分を明記してください。

(1) 「研究論文」

- ① 「論文」(一定の研究成果をまとめたもの)
- ② 「研究ノート」(「論文」に準ずる研究成果をまとめたもの、もしくは研究の基礎となる情報をまと

めたもの)

(2) 「資料等」

- ① 「資料」(報告・資料等会員のさらなる研究・実践活動に資するもの)
- ② 「活動紹介」(実践活動を取りまとめたもの)
- ③ 「書評」
- ④ 「その他」

学会ウェブサイトにて年報第23号の「研究論文等投稿規定」を掲載しております。投稿される会員の皆さまは、ご参照ください。

(年報編集委員会)

広報委員会報告

学会関連情報のwebサイト掲載及びメルマガ発信について

研究会やセミナー開催案内ならびに教員公募等の情報は、学会webサイトに掲載後、新着情報をメルマガで配信しております。会員の皆様には有益な情報は広報委員会(jsi.prc@gmail.com)までご連絡ください。なお、情報掲載可否につきましては、内容を広報委員会で検討させていただきます。

メルマガ配信先アドレスの登録・更新について

会員の皆様に配信しているメルマガは、事務局に届け出いただいたアドレス宛に配信いたしております。配信停止または新規配信を希望される場合には、広報委員会までご一報ください。また、未達アドレスも増えておりますので、アドレスを変更された際には学会 web サイトの会員情報照会・更新ボタンより手続きをいただくか、配信希望アドレスを広報委員会までご連絡願います。

(広報委員会)

高良記念研究助成報告

2019年度(第13回)高良記念研究助成対象者決定報告

本学会では、2007年度から、インターンシップに係る研究・実践活動の発展・普及のため、特に若手研究者の育成や会員相互の研究交流の促進に向けて、「高良記念研究助成」制度を設け、優れた研究課題への研究助成を行っております。2019年度(第13回)の研究助成申請者は1件あり、審査委員の厳正な審査の結果、永川幸子会員(四天王寺大学)の「インターンシップにおけるコーディネーターの役割調査、研究」の1件が採択されました。

(2019年度高良記念研究助成審査委員会)

槇本記念賞WG報告

「第3回槇本記念賞」の表彰について(報告)

槇本記念賞は、元大阪経済大学教授で初代関西支部長であられた槇本淳子先生から、「秀逸なるインターンシップ」の発展を願い頂戴したご寄付をもとに創設された賞になります。これまで槇本記念賞ワーキンググループでは、2年に1回、厳正な選考のもと、全国支部から推薦された事例の中から「秀逸なインターンシップ」事例を選定して参りました。2015年に第1回目の選定を行い、7事例を表彰いたしました。その後、ルール改正等を行い、2017年に第2回目の選定を行い、5事例を表彰いたしました。2019年の第3回槇本記念賞は、各支部から合計10事例を推薦いただき、ワーキンググループメンバーによる厳正なる審査の行い、理事会への提案・承認を経て、下記5事例を選定いたしました。受賞された皆様、誠にありがとうございました。

【最も秀逸なる事例】

- ・NPO法人ETIC。(エティック)
「地域との連携強化とインターンシップの今後のあり方」

【秀逸な事例】

- ・立命館大学
「大学の世界展開力強化事業 産学国際協働PBLの長期インターンシップ」
- ・北九州市立大学

- 「北九大オリジナルの課題解決型海外インターンシップ」
- ・北海道教育委員会
「小中高校一貫ふるさとキャリア教育推進事業」
- ・長崎短期大学
「大学教育再生加速プログラム『長期学外学習プログラム』」

同賞では、今後も初等中等教育および高等教育における秀逸なるインターンシップの事例を表彰し、その取組みを広く普及していきたいと考えています。

(槇本記念賞WG)

支部活動報告

【北海道支部】

2019年6月16日(日)に、2018年度第2回北海道支部研究会を、札幌国際大学にて開催いたしました。本会には全国理事のみなさまを含め、20名の方にご参加いただきました。

今回のテーマは、「高等学校でのインターンシップ・社会体験の取組」として、札幌市内・近郊に位置する高等学校教員のみなさまをお招きし、実践報告とディスカッションを行いました。

今回の報告者と題目は以下の通りです。

- ① 遠藤 直樹 氏(北海道三笠高等学校 校長)「三笠高校食物調理科の取組み」
- ② 三関 直樹 氏(市立札幌旭丘高等学校 教頭)「札幌市立高校普通科の職場体験学修について」
- ③ 森 慶介 氏(北海道札幌東商業高等学校 教諭)「札幌東商業高等学校のインターンシップ」

遠藤氏が所属する三笠高校は高校生自身が調理を行うレストランを運営していることで全国的に有名です。高校生の減少から道立から市立へ移管される中で、高校の特色ある取り組みであるレストラン経営と同時に全国のレストラン・ホテルへの就職を目指し、職業体験派遣を行うなど、カリキュラムや教職員の様々な取り組みが報告されました。また、三関氏からは、職業教育への意識が高まらない進学校での職場体験の実現に向けて、複数の市立高校が連携し、さまざまな議論を行い、職場体験が実現した様子が紹介されました。森氏からは、生徒全員をインターンシップに参加させるという学校の取り組みから、実習先の確保や生徒の指導まで、現場の取り組みの様子や課題について報告がありました。高校のカリキュラム内で全員参加を実現するための困難については、大学でのインターンシップでも参考になる部分があり、高大連携による研究が、今後ますます求められていくものと実感しました。

報告終了後には、フリーディスカッションとして、参加者同士で質疑が行われ、高校・大学の相互から見た職業教育のあり方や、意識の涵養、また実施に対する課題

などが議論されました。特に、高校側から大学教員に向けた質疑では、普段の研究会では議論されない話題も多く、これからの高大接続の拡大を期待しつつ、研究会を終えることができました。

今後も北海道支部では、大学のみならず、さまざまな分野のステークホルダーとの連携・議論を進めて参りたいと考えております。

なお、2019年度第1回支部研究会は、2020年2月25日13時からの予定です。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

(北海道支部広報担当 小林 純・札幌国際大学短期大学部)

【東日本支部】

2019年度第1回支部研究会・支部総会の開催

7月21日(日)に、2019年度第1回支部研究会ならびに支部総会を目白大学(開催校:目白大学)にて開催しました。

第1回支部研究会は「東日本支部の目指す方向性について考える」をテーマに、改めて東日本支部として、今後どのような方向性でインターンシップの研究および実践に繋がる取組みをしていけばよいか意見交換を行いました。まず、地方圏(松坂暢浩会員・山本美奈子会員(山形大学))および首都圏(牛山佳菜代会員(目白大学))のインターンシップ事例を紹介いただき、その後に意見交換を行いました。意見交換のなかで出た意見は大きく2点ありました。①研究会のテーマ・内容について、「中小企業のインターンシップ事例」「多様な学生のインターンシップ受入事例」「海外の先進事例」などを取り上げてはどうかという意見がありました。②研究支援について、「科研費や国・財団等の補助金獲得」「研究手法(分析方法)」に関する勉強会の開催や「支部年報」の作成などに関する意見がありました。これらの意見を踏まえ、今後の支部役員会で検討していきたいと考えています。

研究会終了後に支部総会を開催し、2018年度の支部事業の報告と支部決算および監査報告、ならびに2019年度の支部事業計画(案)と支部予算(案)が承認されました。



2019年度第2回支部研究会

第2回支部研究会は、12月14日(土)に「地方圏の中小企業が取り組むインターンシップ・プログラム事例から学ぶ」をテーマに山形(開催校:山形大学)で開催しました。詳細は、次回のニュースレターでご報告させていただきます。

(東日本支部 支部長 松坂 暢浩・山形大学)

【関西支部】

関西支部では、第20回大会(8月31日~9月1日に近畿大学で開催)の準備にあたり、開催校のマンスリーの限界から、他大学の有力会員による支援体制(HP作成、自由研究発表の報告者・座長との連絡調整、会計を担当)を組みました。また、例年8月開催の支部研究会を12月開催とし、大会準備に専念することになりました。この支援体制が威力を発揮し、本部や大会参加者のご理解・ご支援も得たため、大会は無事終了いたしました。

大会終了後、前支部長(廣瀬幸弘会員)の健康への配慮等から、10月付で支部長を交代し、私が再度支部長に就任することになりました。あわせて、支部運営委員の一部見直しも行いました。

支部研究会は12月6日に開催しました。大学コンソーシアム大阪(毎年200人規模のインターンシップを実施)に共催していただき、会場提供や広報などでお世話になりました。「中小企業のインターンシップ」をテーマに、地域金融の研究者仲間である根本忠宣氏(中央大学)と深沼光氏(日本政策金融公庫総合研究所・研究主幹)に報告していただきました。深沼氏から、公庫のスタートアップ企業向け大規模アンケートの分析結果(急成長企業ほど人材不足が深刻)や、インターンシップやアルバイトを活用した対応策の事例、米国MBA留学時のインターンシップ体験などが報告されました。根本氏からは、インターンシップの経済理論的位置づけや海外での実証分析の紹介、「ネットワーク多摩」でのインターンシップ支援時の経験と課題(永続性を担保する工夫が必要)などを発表いただきました。フロアとの質疑応答が活発で、交流会が当初予定を30分超過するなど盛況のうちに研究会を終えることができました。

(関西支部 支部長 安孫子 勇一・近畿大学)

【九州支部】

2019年度支部総会ならびに九州支部第24回研究会開催

2019年11月1日(金)に久留米大学福岡サテライトにおいて、2019年度支部総会ならびに第24回研究会『大学の学びと地域を結びつける職業統合的学習』を開催しました。

支部総会では、2018年度会計報告・活動報告などが承認されました。2019年度の活動については研究会の在り方についてはテーマ設定、広報活動の方法や企業や大学関係者などターゲットに応じた開催日時の設定についての検討がなされました。

支部総会に引き続き、九州支部第24回研究会では、まず、九州支部長の吉本圭一会員から本研究会の趣旨説明がなされました。そして、地域と職業が教育と結び付くことによって生じる付加価値と質の高い職業総合的学習とは何かという課題が提示されました。職業統合的学習の1つ目の事例報告として、長崎県立大学の綱辰幸氏から地

域創造学部で実施している長期インターンシップの取り組みについて、制度設計の経緯や現状等について具体的な事例を示しながら報告がなされました。2つ目の報告は、江藤智佐子会員（久留米大学）から文系大学におけるディプロマ・ポリシー（DP）と専門との関連を意識した課題解決型プロジェクトについて、先行研究に基づく職業統合的学習のプログラム開発とその効用についての事例が紹介されました。

その後、参加者を交えた総括討論では、長期インターンシップを必修科目として位置付けるための開講時期の工夫や評価・成果指標の困難さについて、インタラクティブな議論が展開されました。参加者は14名（非会員を含む）でしたが、司会の安田麻希代会員の巧みなファシリテーションにより、参加者相互の意見が促進され、日頃抱えている連携教育の具体的な課題を議論することができ、盛会のうちに研究会を終えることができました。

（九州支部広報担当 小嶋 紀博・教育雇用事情研究所）

事務局からのお知らせ

2019年度会費納入のお願い

前号のNEWSLETTERと会費納入の用紙が会員の皆様に送付されていると存じます。2019年度（2019年7月から2020年6月）分の会費未納の方は下記口座にお振込みいただきますようお願い申し上げます。

納入先

郵便口座：02750-1-108419

口座名義（「加入者名」の欄）：

日本インターンシップ学会

ゆうちょ銀行 口座番号：

店番：279（当座）108419

口座名義：日本インターンシップ学会

***振込にかかる手数料等は各自でご負担ください。**

会員情報変更の連絡について

前号のNews Letter記載の通り、会員情報管理を（株）ガリレオへ外部委託すると共に会員情報管理システム（SOLTI）を導入し、会員情報管理をオンライン化しております。つきましては、会員情報の修正が必要な場合は、学会ホームページへアクセスの上、システム（SOLTI：会員情報照会・更新）にログインして修正を行ってください。

（事務局）

日本インターンシップ学会 News Letter 2019 No.1

発行日：令和元（2019）年12月28日

発行：日本インターンシップ学会 会長 折戸 晴雄

編集：日本インターンシップ学会広報委員会 e-mail：jsi.prc@gmail.com

印刷：日本インターンシップ学会事務局 e-mail：jsi-sec@js-internship.jp